

長岡京市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)

～持続可能な未来（アース）プラン～

長岡京市の8つの取組み進捗管理表

＜平成31・32年度＞

長岡京市環境政策室

平成31年3月



長岡京市の8つの取組み進捗管理表

進捗管理表の目的

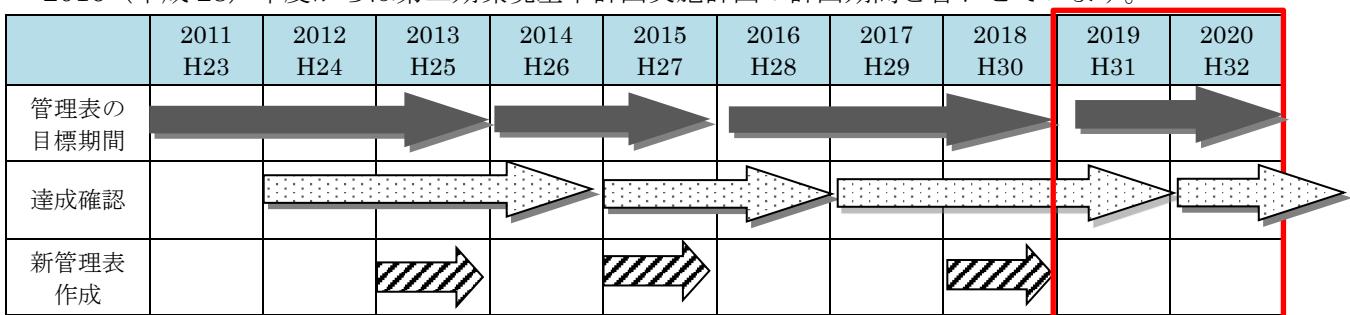
本進捗管理表は、本市域の温室効果ガス削減目標の中でも、行政においてその取組みを推進または支援するための施策について進行状況を把握するためのものです。

管理表では、温暖化対策の主要項目の中でも CO₂ 排出量、家庭での電気とガスのエネルギー使用量を共通指標とし、その削減目標の達成を目指します。

また8つの取組みそれぞれの進捗状況を「目標指標」としてあわせて評価します。この「目標指標」については、必要があればより実質的な判断が可能なものに見直すこととします。

進捗管理表の目標及び確認年度

2016（平成28）年度からは第二期環境基本計画実施計画の計画期間と合わせています。



進捗管理表の見方・評価・見直し

年度ごとに進捗状況を評価し、公表します。評価は、下記のとおり行う予定です。

なお、特記のない限り、指標の「現状値」は平成29年度の数値です。

目標指標	現状値	各年度の目標値 (目標状況)	実行部門	進捗状況	進捗内容
目標の内容	・29年度現状値（特記のあるものを除く。）	・目標値 ・数値で示せない場合は、目指すべき状況	主管する課等	年度終了後に目標に対して○○△×で評価（評価の目安は下記のとおり）	進捗内容を文章で記載。 (例: ●月■日 ・・・で省エネ診断実施。)

・事業の終了などに伴い、見直し

・「-」は、新規事業につき実績なし

・3年に1度見直し

＜評価の目安＞

	数値目標	定性の目標
◎	目標数値を達成	目標の状態に達している
○	目標数値の7割以上達成	目標の状態に完全には達していないがおむね達成していると判断できる
△	目標数値の7割未満の達成	前年度より進捗している
×	目標に達するための取り組みをしていない	前年度から取り組んでいない

温暖化対策共通指標

※温室効果ガス排出量の算定根拠とした数値と合わせるため、2年度前の数値で比較しています。

目標指標	H27年度 現状値	H29年度 目標	H30年度 目標	実行部門
市民1人あたりの CO ₂ 排出量 (民生家庭部門CO ₂ 排出量／人口)	1,294.5 kg-CO ₂	959.7 kg-CO ₂	935.7 kg-CO ₂	環境政策室
市民1人あたりの電気使用量 (電灯使用量／人口)	1,844kWh	前年度比 使用量減	前年度比 使用量減	環境政策室
市民1人あたりの都市ガス使用量 (都市ガス使用量／人口)	141.8 m ³	前年度比 使用量減	前年度比 使用量減	環境政策室

取組み1 機器や建築物等の省エネ・省CO₂化

主要課題	施策の方向性
1. 設備機器や建築物などの基礎エネルギー使用の低減	1. 省エネ住宅等の情報提供 2. 省エネ機器の比較の啓発
2. ビルや家庭でのエネルギー使用量の見える化	1. 見える化機器設置の普及拡大

目標指標	現状値	H31年度 目標	H32年度 目標	実行部門
住宅エコリフォーム助成件数	3件	10件	10件	環境政策室
省エネ機器の情報提供回数	2回	2回	2回	環境政策室
省エネナビモニター事業の実施	参加世帯 電気使用料 前年比平均 8.3%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	環境政策室

取組み2 省エネ行動・エコライフの実践

主要課題	施策の方向性
1. 省エネ行動・エコライフの継続	1. 省エネ行動のモチベーション維持・支援 2. 省エネ行動による効果の周知・情報提供
2. 事業所・家庭での省エネ行動手法の獲得	1. 家庭での省エネ手法の普及 2. 事業所での省エネ行動の推進

目標指標	現状値	H31年度目標	H32年度目標	実行部門
「うちエコ診断」、「省エネ診断」受診者数	115人	120人	120人	環境政策室
【削除】エコストアを活用した地域通貨の検討	【削除理由】エコストアのようなモデル店舗ではなく、すべての店舗が環境に配慮した運営していく必要がある。今後はエコストアを基本とする環境地域通貨の検討ではなく、地域通貨の検討は継続するため削除。			環境政策室 環境業務課
エコドライブ（※1）の啓発	啓発活動 2回 市HPでの 情報提供	啓発活動 2回 市HPでの 情報提供	啓発活動 2回 市HPでの 情報提供	環境政策室
中小企業に向けた省エネ診断等の情報提供	— (平成30年度 現状値)	省エネ診断、 再エネコン シェルジュ の情報提供	省エネ診断、 再エネコン シェルジュ の情報提供	環境政策室

※1 エコドライブ…環境負荷の軽減に配慮して自動車を使用すること。

取組み3 循環型社会の推進

主要課題	施策の方向性
1. 資源物のリサイクルの推進	1. 各家庭での分別収集の推進
2. 間伐材資源の循環システムの確立	1. 間伐材の利活用の推進

目標指標	現状値	H31年度目標	H32年度目標	実行部門
リサイクル率 [(資源化量+集団回収量)/(ごみの 総量+集団回収量)] × 100	14.2%	19%	20%	環境業務課
森林整備面積のうち 利用間伐した面積	延べ 11.54ha	延べ 12.0ha	延べ 12.5ha	農林振興課
薪ストーブ購入助成件数	3件	3件	3件	環境政策室
西山産薪購入助成件数	864束	900束	950束	環境政策室

取組み4 低公害車の利用

主要課題	施策の方向性
1. 低公害車の普及	1. 電気自動車や低公害車の率先導入による啓発

目標指標	現状値	H31 年度 目標	H32 年度 目標	実行部門
公用車の低公害車導入率 (リース含む)	60.0%	65%	70%	公用車 保有課
低公害車の情報提供回数	2回	2回	2回	環境政策室

取組み5 自転車や公共交通機関等の利用

主要課題	施策の方向性
1. 自家用自動車の利用低減	1. コミュニティバスの利便性向上による利用促進 2. パークアンドライドの推進

目標指標	現状値	H31 年度 目標	H32 年度 目標	実行部門
はっぴいバス 1便あたりの利用者数	13.6 人	14.7 人	15.0 人	交通政策課
パークアンドライド駐車場の利用台数 ※長岡京駅西駐車場・西山天王山駅東駐車場	50,159 台	前年度比 利用増	前年度比 利用増	交通政策課

取組み6 再生可能エネルギーの導入

主要課題	施策の方向性
1. 再生可能エネルギーの導入推進	1. 太陽光発電システム導入支援 2. 再生可能エネルギーに関する情報の周知

目標指標	現状値	H31 年度 目標	H32 年度 目標	実行部門
再生可能エネルギーの世帯当たりの普及率	3.61%	4.18%	4.45%	環境政策室
公共施設における発電量の把握及び新築・改築時の再生可能エネルギー導入	—	発電量の把握 ・再生可能エネルギーの導入	発電量の把握 ・再生可能エネルギーの導入	施設管理課

取組み7 緑化の推進や森林、農地の保全

主要課題	施策の方向性
1. 緑化の推進	1. 植樹等による緑地の拡大 2. 緑化・緑の保全活動に対する支援
2. 森林の保全	1. 西山森林整備面積の拡大による健全な森の育成
3. 農地の維持・保全	1. 生産緑地の保全による農地の保全

目標指標	現状値	H31 年度 目標	H32 年度 目標	実行部門
まちなかに創出した緑被面積	2,862 m ² (前年度比 +49 m ²)	50 m ² 増加	50 m ² 増加	公園緑地課
西山森林整備延べ面積	延べ 295.09ha	延べ 304ha	延べ 312ha	農林振興課
生産緑地面積	60.94ha (前年度比 -0.53ha)	維持保全	維持保全	都市計画課

取組み8 環境意識の向上

主要課題	施策の方向性
1. 環境問題に対する意識の向上	1. 体験を通じた環境意識の醸成 2. 環境学習の機会の提供 3. 環境活動に関する情報共有の場の提供

目標指標	現状値	H31 年度 目標	H32 年度 目標	実行部門
環境体験学習会の開催件数	西山ファミ リー環境探 検隊 3回実施	西山ファミ リー環境探 検隊 4回実施	西山ファミ リー環境探 検隊 4回実施	環境政策室
スターウォッキング・バードウォッ キングなどの自然観察会の開催	3回実施 (スターウ ォッキング 2 回・バードウ ォッキング 1 回)	3回実施 (スターウ ォッキング 2 回・バードウ ォッキング 1 回)	3回実施 (スターウ ォッキング 2 回・バードウ ウォッキング 1 回)	環境政策室
環境フェアへの参加団体・企業数	参加団体 34 団体	参加団体 34 団体	参加団体 34 团体	環境政策室